

追悼の辞

板野町戦没者追悼式にあたり、ご英霊の皆様をたいし、謹んで追悼の辞を申し上げます。

先の大戦において、皆様は、家族を愛し郷土を愛し、国をまもりたいという一心から、南海へ大陸へと戦地におもむき、そのかけがえのない命を捧げられました。

激しい戦いの結果、幾百万の命が失われ、国土も焦土と化しました。

しかしながら、戦後の我が国は、その未曾有の災厄を乗り越え、これだけの繁栄を謳歌しております。

それも、英霊となられた皆様のご無念とご遺族の皆様の悲しみをふまえ、この犠牲を無にしないよう、新しい平和な国づくりに励んできた結果であります。

戦後60年、経済のグローバル化やテロリズム、地球環境問題など、今日我が国を取り巻く国際情勢は急激に変化し、国内的にも少子化や農林水産業の衰退など、幾多の困難な課題をかかえております。

郷土板野町もまた、こうした動きと無縁ではありえず、懸命の努力を重ねております。

こうしたときだからこそ、改めてあの戦争の記憶を振り返り、二度と再びあのような惨禍が引き起こされないよう、恒久平和の精神を子供達に引き継ぎ、そして皆様が愛してやまなかつた郷土をいっそう豊かで住みよくしていくため、全力をあげなければならないと思います。

いまその決意を新たにすることこそが、なにより英霊の皆様をお慰めすることになると信じます。

私自身もまた、一県議会議員として、微力ではございますが、ご遺族の援護につとめながら、恒久平和の実現と郷土の発展のために邁進することをお誓い申し上げます。

ご英霊のご冥福をお祈りし、ご遺族のご多幸を心から祈念申し上げまして、追悼の言葉といたします。

平成18年5月23日

徳島県議会議員 扶川敦